

今回も「彩進ニュース」の別紙としてEA21 2017年版の説明をお届けします。

前回(2018年夏号)では、EA21 ガイドライン(GLと略す) 2017年版(2017年版と略す)の目的である、「環境経営」について説明しましたがご理解いただけただけでしょうか？

EA21 2017年版についての説明 No3

1. 負荷チェックシート

2017年版で大きな変更点の1つである負荷チェックシートについて説明を進めていきます。大きな変更があったと言っても負荷チェックシートの基本的な役割、把握項目の大きな変更はありません。

地球温暖化対策への貢献を高めるために、事業者はエネルギーの使用量データを毎月正確に把握して、その後に中央事務局はEA21取組事業者全体のデータとして取りまとめ、集計して各種温暖化対策に役立てることが付け加えられました。そのために、審査員は月毎に記入されたエネルギー使用量データに異常値がないかチェックして中央事務局に報告することになります。事業者が月毎に記入しなければならない項目は電力、燃料等のエネルギーに限定されます。

また、エネルギー、廃棄物、水に関する費用を記入できるフォーマットになっていますが、費用の入力は必須ではありません。コスト管理とEA21の橋渡し、環境と経営の融合化の仕組みがこんなところにも組み込まれています。

なお、2017年版ではエネルギー使用量(MJ)と容器包装リサイクル法対象物量の項目がなくなっています。

2. 負荷チェックシートのフォーマットってどんなもの？

負荷チェックシートと取組チェックリストは事業内容に合わせて変更しても良いことになっています。負荷チェックシートの正式版ではエクセルシートが12枚になり使い易いとはいえません。これを3Pに集約することができます。中小事業者の場合には2P、更には1Pに纏めることもできます。審査員に相談すると良いでしょう。

文書4-1 負荷チェックシート(2017年版対応)					
1. 事業の規模(〇月～△月)					
	単位	〇〇年度	・・年度		
従業員数	人				
売上高	万円				
床面積	㎡				
生産高	万円				
輸送距離	千km				
2. 環境への負荷の状況(取り纏め表)					
〇〇年〇〇月～△△年△△月(基準年度)					
	使用量	単位	料金(千円)	CO ₂ 排出量	割合(%)
エ ネ ル	電力会社1	kWh		0	#DIV/0!
	電力会社2	kWh		0	#DIV/0!
	電力会社3	kWh		0	#DIV/0!
	太陽光/自家発電	kWh		0	#DIV/0!
	ガソリン	L		0	#DIV/0!
	軽油	L		0	#DIV/0!

3. エネルギー使用量とCO ₂ 排出量集計表						
社名/係数	単位	2018年4月	5月	6月	7月	8月
電力会社	kWh					
TEPCO	千円					
排出係数	0.486	kg	0	0	0	0
電力会社	kWh					
日本テック	千円					
排出係数	0.401	kg	0	0	0	0
電力会社	kWh					
東京ガス	千円					
排出係数	0.417	kg	0	0	0	0
自家発電	kWh					
太陽光/発電機	kWh					
ガソリン	使用量	L				
	支払金額	千円				
係数	2.321660	kg	0	0	0	0
軽油	使用量	L				
	支払金額	千円				
係数	2.584963	kg	0	0	0	0
灯油	使用量	L				
	支払金額	千円				
係数	2.489483	kg	0	0	0	0
A	使用量	L				

負荷チェックシート集約版 出典: 弊社発行「EA21構築と運用」17P、18P、19P。

正規版の12Pを3Pに集約して使い易くしました。

3. 取組チェック表

2017年版の取組チェック表の外観(フォーマット)は2009年版と変わりません。しかし、2009年版の「具体的な取組」は現実離れた、或いは中小事業者向けでないものがありました。2017年版では「具体的な取組」が大幅に見直され、より使い易くなっています。

4. 取組チェック表の注目点

取組チェックの中で注目したい点があります。「2. 事業活動からのアウトプットに関する項目 2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理 ① 廃棄物の発生そのものを抑える取組の中に「品質マネジメントシステム(QMS)と連動して(一体的に)運用しているか」という項目が設けられた点に就いて筆者は注目しています。品質、情報セキュリティ、労働安全、エネルギー管理に関するマネジメントシステムが普及しているため、これらのマネジメントシステムの一体化・統合化が重要になっています。

5. 取組チェック表の活用例

重要なことは労力を掛けて作成したこれらの書類を活用することです。

- ① 取組チェック表には具体的にどのような取組をしたら良いかのヒントが沢山盛り込まれています。「EA21 構築と活用」冊子では、自組織で取り組む項目に「◎」を付けて、環境経営計画に盛り込んだり、手順書を作成して日常業務化することをおすすめしています。
- ② 別の活用方法は、毎年「具体的な取組」項目を増やして、更に熱心に取り組んで評価点を上げるための物差しとして活用することです。分母となる「配点」と分子となる「評価点」を2、3年間でどの程度増やしたかを把握して、改善目標としてもよいでしょう。長年の地道な活動の積み重ねによってEA21の有効度が向上します。

別表 環境への取組の自己チェック表 文書4-2						
○ 組織の環境への取組状況について、本チェック表(Excelファイル)を基に把握してください						
○ 追加する取組がある場合には、それぞれの項目の下の空欄に取組の内容を記入してください。						
○ 関連する取組についてのみ、左の「チェック」の欄に「1」を入力してください。						
○ 「重要度」の欄に、環境経営に著しい効果があると考えられる項目には「3」を、かなり効果がある項目には「2」を、多少効果がある項目には「1」を入力してください。						
○ 「取組」の欄に、既に取り組んでいる活動には「2」を、さらに取組が必要は活動には「1」を、取り組んでいない活動には「0」を入力してください。						
○ 評価点及び結果の点数は、自動で入力されます。						
★ 行を適宜追加・削除(又は非表示)してください。						
★ 方針、目標、活動計画、手順等に採用する場合には、最右欄(「取組」)に「◎」を表示してください。						
1. 事業活動へのインプットに関する項目					大項目 結果	0 / 0
1) 省エネルギー					中項目 結果	0 / 0
① エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約						
チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	配点	取組
	事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している			-	-	◎
	ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯している			-	-	
	パソコン、コピー機などのOA機器は、省電力設定にしている			-	-	◎
	夜間、休日、パソコン、プリンターなどの主電源を切っている			-	-	
	エレベーターの使用を控え、階段を使用するよう努めている			-	-	

取組チェックリストの活用例

出典: 弊会発行「EA21構築と活用」20P

取り組む項目に「◎」印をつけて環境経営計画に掲げる。

6. 実施体制の構築

大きな変更点はありませんが、環境管理責任者の任命は必須ではなくなりました。しかし、EA21を有効に運用するためには環境管理責任者は必要です。この観点から環境管理責任者の選任をおすすめします。

7. 教育・訓練の実施

2009年版では「EA21の取組を適切に実施するために必要な教育・訓練を実施する」と抽象的な表現となっていました。しかし、2017年版では全従業員教育、特定業務従事者教育を求めています。教育・訓練結果を記録することは必須ではありませんが、重要な教育については記録することをおすすめします。実質的な変更点はないのですが、教育・訓練をしっかりと行っていない場合にはこれを契機として、教育・訓練を充実させることが求められます。

次回は環境関連法規と遵法、是正・予防処置等について説明します。ご期待ください。